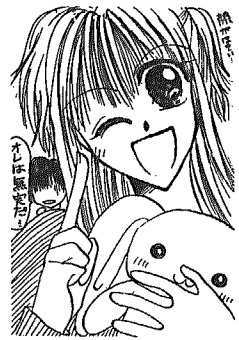


# なごみひろ場

## イラスト



宗村 麻有さん (川原)

### ♡募集しています♡

イラストやマンガ  
短歌・俳句・詩・随筆  
サークル・グループ紹介  
お子さんの写真  
町への意見や要望など

#### 応募先

〒950-1196  
黒埼町大野2843-1  
黒埼町役場 広報くろさき係

匿名でもよいですが、  
連絡先を忘れずに

#### 問い合わせ

企画商工課 ☎377-3101 内線335

## 短歌

黒埼短歌会

里芋を買って忘れて思い出したに  
ころがして夕餉は足りぬ  
柴垣 きみ  
左手に余る大きな鉢もち黙々と  
孫は紙吹雪切る  
上山 恵子  
逆転し悲願の金を得し選手涙の  
笑顔は世界めぐれり  
笠原 セツ  
五大陸つなぐ歓喜の歌湧きて総  
立ち五万の合唱轟く  
泉井 ヨ子

「モノの水蓮」期待の如く掛り  
居て若かりし日の我に合いたり  
丸山 幸  
春立てばはだ寒き日も一日ずつ  
のびて明るく楽しく暮るる  
大湊 ミキ  
わび助の一陣かかり咲いた花寄  
る小鳥らに甘蜜吸わす  
大谷 モト  
雪どけにわびしく見ゆる冬囲い  
「春は来たぞ」となほほほきやる  
長谷川トリ

くつろぎは生きる貯へ櫻餅  
梅散るや静かな雨の日曜日  
富代  
艶やかに芽吹き枝をのびしゆく  
トシ子  
春の空起重機の腕伸びてゆく  
敏郎  
凛として梅匂ふ日に逝かれしか  
文雄  
ひたすらに春日と共に一万歩  
みどり  
白梅のあるか無きかの風に散る  
代香  
春浅し山むらさきに夕暮るる  
義男  
曾孫の指穴ひとつ春障子  
一翠

## 俳句

黒埼俳句会

学舎の側に歩を止め聞き入りぬ  
さ阿やか流るる仰げば尊とし  
小林 信

## マンガ

### ナニシ

中学通り 吉田 麻代



水浅れ日のあれば捉へし雪割草  
けんじ  
夕闇に吸ひこまれゆく野焼の焙  
孝子  
焼きたてを差し出す市の目ざし  
玲子  
春雨に敵の野菜の生き生きと  
さい

寺めぐる旅の終わりや西行忌  
信子  
天に伸び地に泰然と大桜  
洋子  
並木より離れ一本大桜  
成子  
鳥鳴いて桜の雨も上るらし  
水仙  
盛りなる花に重さの見えてをり  
舞子

三ハの市日の帰り花の連れ  
友佳  
輪を描き流れ初めたる花筏  
飛浪  
給食に絵手紙もつき野水仙  
小林ミサヲ  
忘れもの気づくバス停春の雨  
鈴木 ハツ  
麦畑さへづる雲雀いまいづこ  
鹿島 トイ

# 食

健康まつりの  
人気料理

一食生活改善推進委員会一

## ボイルド ミートローフ



### 材料 (1単位)

- 合いびき肉.....300g
- 玉ねぎ.....中1個
- ミックスベジタブル (冷凍)  
.....50g
- パン粉 (又はクエカーオート  
ミール).....1/2カップ
- 卵.....1個
- 片栗粉.....大さじ1
- ナツメグ.....少々
- バター.....大さじ2
- 塩.....小さじ1/2
- こしょう.....小さじ1/2

### 作り方

- ① 合いびき肉をすり鉢に入れ、ねばりがでるまでよくする。
- ② そこに玉ねぎのみじん切りを炒めてさましたものと、ミックスベジタブルを入れて手でよく混ぜ合わせる。
- ③ パン粉、卵、片栗粉、ナツメグ、塩、こしょうを加え、さらにもみこむようにして、混ぜ合わせる。
- ④ 大きめのアルミホイル2枚重ねの内側にバターをぬりつけ、ひき肉をロール状においてしっかり巻き、形をくずさないようにフライパンで中火でゆっくりホイルごと焼く。
- ⑤ 焼き目がついたところを見計らい、火を止めさます。
- ⑥ 次にホイルの上から更にラップをしっかりと巻きつけ、輪ゴムなどでとめる。
- ⑦ 深鍋になつぷりの湯を沸騰させ、ラップにくるんだ⑥を入れ、15分から20分煮る。火が通ったら出来上がり。(串をラップの上からさして肉汁が濁っていないか確認)
- ⑧ ラップとアルミホイルをはがし、スライスして粒マスタードなどをめって食べます。

## サークル・グループ紹介⑦

### 黒埼俳句会

代表 田代 敏男 (上山田第3)



俳句とは、四季春秋の変化を含めて、人と自然との微妙なかわりの中で湧く感動を、五、七、五の十七音にまとめた最も短い詩です。  
黒埼俳句会は、昭和五十九年八月に十四名で結成され、元山田小学校教頭の藤田芳郎氏、水、新湯俳句会会員を講師に、毎月一回の句会や吟行会で勉強してまいりましたが、平成三年秋ころからいろいろの事情が重なり、相談の結果一応閉会することになりました。そこで、今までの会員であった方にも呼びかけて、二十名で記念の合同句集を作り、締めくくることにしました。  
ところが、二ヶ月ほど経て、句友の中からやはり続けたいとの意見が強くて、再び、集まって勉強を始めたのですが、講師不在では力が入らず、なんとかしなければと八方手をつくした結果、新しく講師に高浜虚子氏の高弟の高野素十氏、中田みづほ氏の新高

講師紹介  
長谷川耕敏(義雄)、大正十五年生、新潟市在住。昭和五十一年に毎日俳壇賞(高野素十選、そのころ「文芸にいがた」文芸賞を五年間で二回受賞、俳友の蒲原ひろし氏は「故中田みづほ先生主催の俳誌」まはぎで育った俳人で、かくも全国的俳誌で回を重ねて巻頭作者となった人は外にいない」と言っておられます。この様に全国的俳誌十誌以上で活躍しておられた外に「まはぎ」の覆刻、みづほ全句集、季題別素十全句集の編集、雪霽書二十四集の編集、校正に携わってこられました。ご自身も夕紅葉、榛の花、散華、玉盃、続玉盃、黄落の句集があります。現在、新潟市史編纂室勤務の傍ら「雪」編集委員、「花林橋」題詠選者、俳句文法六十講抄録を寄稿連載中、新潟俳句会代表幹事、NHK文化センター俳句初心者講座担当講師を十五年、俳句研究会ABCの三クラス、巻、白根、黒塔、外数カ所の句会指導をしておられます。

## わが家の愛ドル

# 募集中

このコーナーで紹介してほしいサークル・グループを募集しています。詳しくは、企画商工課広報統計係までご連絡ください。